

重点施策		文化・芸術活動の創造・育成支援		評価実施者		所 属	社会教育課
				職・氏名		課長	景由隆寛

重点施策の概要	目 的	市民による優れた芸術鑑賞事業や個性的な文化創造事業のほか、これらをけん引する人材育成事業を支援し、地域の文化力を原動力としたまちづくりを目指します。					
	今年度の主要事業	①地域文化活動を支える市民との協働による鑑賞事業などの実施 ②学校を舞台とした芸術鑑賞や体験などのアウトリーチ事業の拡充					

事業の目標と実績	区 分		単位	H23	H24	H25	特記事項
	1	たきかわ音楽祭・市民文化祭の来場者数	目標	6,214	6,214	6,214	H23 音楽祭 900人 文化祭 4,279人
		実績	5,179	4,589	5,545	H24 音楽祭 920人 文化祭 3,669人 H25 音楽祭 800人 文化祭 4,745人	
	2	文化センターを会場とした座席数に対する鑑賞事業観客数の割合	目標	75.0	75.0	75.0	H23 炎の人 634人、札幌公演 750人
		実績	70.0	56.2	38.2	H24 ヘルパーズ530人、熱帯JAZZ楽団750人、海流座405人 H25 兄帰る 375人	
3	芸術家が訪問した延学校数	目標	11	11	11	H25 東京プラススタイル(三小・開西中)、滝川三曲会(一小)	
	実績	9	5	3	※トランクシアター(一の坂保育所)		
4		目標					
		実績					

事業の分析効果の検証	①市民文化祭は、展示会場を総合福祉センターから文化センター・中央児童センターと芸能会場周辺に集約し、開催日も同日にしたことから、集客数も伸びた。 ②東京プラススタイルは、開西中学校吹奏楽部でアウトリーチを行い、翌日にはたきかわホールで共演。プロとの共演により、生徒の意欲が向上した。また、滝川第一小学校で滝川三曲会による和楽器体験を行った。児童の体験機会としてもよかったが、教える側の市民に達成感があった。
課題	①市民文化祭は、出品者が減少している。市民の作品発表の場として活用してもらうよう新たな仕組みが必要。 ②来滝するプロのアーティストや、芸術文化活動を積極的に行う市民と学校を結び、アウトリーチ事業を継続していく。

評価	A 評価の視点1 期待どおりの効果があったか 市民文化祭は、会場及び日程の集約したことで、観覧しやすかったという意見が多く期待どおりの効果があった。鑑賞事業については、数値的には下がっているが、公演目的は概ね達成することができた。 芸術家の学校訪問は、児童生徒も出演者も満足度が高く効果があった。 評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか 優れた鑑賞事業の実施は継続し、また市民が「参加したくなる」工夫をする。 芸術家等の学校訪問は継続して実施する。
----	--

【評価の区分】

A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	地方都市でも質の高い文化・芸術活動に触れられる機会の提供を継続していく。 ☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピートアップ ☐ 検証 ☒ 継続
-----------	--

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	市民文化祭は、どの会場で何が行われているか分からないことがあり、地図を付けたがまだ分からない方がいたので、場所が分かりやすくなるような工夫をしてほしい。 アウトリーチ事業については、目標が高すぎる。各校1回できればいいが難しいので3分の1ずつとかにしてはどうか。
---------------	--